

子育て支援センター

楽しいこといっぱい！支援センター

連日暑い日が続いていますが、支援センターに来る子どもたちは水遊びに夢中になっています。

お母さん達も一緒に楽しんで楽しんで、お母さん達の姿を見ると親子でふれあう時間を作るお手伝いができている事を嬉しく思います。



支援センターでは、こどもの日や七夕などの日本の季節行事を大切にしています。子どもたちと一緒に楽しめるよう、見て楽しく触れて面白い活動をたくさん取り入れていきます。

日本の行事は家族の幸せを願う気持ちを形にしたものが多いです。こういった行事を子どもたちに知ってもらうことも、心に愛を育んでいくために大切にしています。

また、今年度はランチルームがとも賑わっています。ピカピカになったお弁当箱を見せてくれる子どもたち。その顔はとても誇らしげで、微笑ましいです。笑顔あふれる支援センターに、ぜひ足を運んでください。



ドルカス乳児保育所

お家の人と一緒に

子どもたちは、保育所での生活にもようやく慣れてきました。

お家の方に、保育所での子どもたちの様子を見ていただいたり、保育士役となって一緒に遊んだり、お世話をさせていただく保育参加をしました。

お家の方は子どもたちと関わることで、同じ年齢でも遊び方、興味・関心、給食の食べ方など、一人ひとり違うことを知り「違って良い」等、さまざまな思いで過ごされました。

保育参加をする事で安心していただき、また他の子どもたちと仲良くなったり、お家での親子の会話や関係がより深くなることで、よ

近頃では相手の顔を見なくても会話ができます。子どもたちには、相手の表情、仕草から相手の心の中を感じ取れる人になってほしいと思います。



かけつけてくれる大人が優しく声をかけてくれることで自分も優しい気持ちになり、友達にも優しく関わることもできます。人間関係が希薄になりがちな現代社会、子どもたちには暖かい声掛けを心掛けたいものです。



飯山北第一保育所

あかいももがたくさん！

収穫祭



今年も、山田農園の桃の木オーナーになった子どもたち（四・五歳児）は、暑い中「ももちゃんくらぶ」や「げんき会」の方々に協力していただき、桃の収穫に行ってきました。

六月、小さな桃の実に袋かけをしてから約一ヶ月。子どもたちは、大きく赤く実ったたくさんの桃を見て「わー、大きなももがいっぱい」と歓声をあげていました。手が届くところの桃は、両手で優しく包み込んで採り、高いところはおじちゃんおばちゃんに抱っこしてもらって、一緒に収穫をしました。

その後歩いて保育所に帰り、収穫祭の始まりです。四歳児はダンス、五歳児は和太鼓演奏を発表しました。五歳児はその後お手伝いをして下さった方々と一緒に給食、そして採りたての桃と一緒に食べ、楽しいひと時を過ごしました。「このももサイコー」と赤い桃を食べた子どもたちの笑顔も最高でした。

毎年、桃の花見、袋かけ、そして収穫にたくさんの方々が協力してくださっています。その愛情に満ちた関わりの中で、たくましく育っていることに感謝しています。これからも、地域に根付いた保育所として交流を深め、人とつながりを大切にしていきたいと思えます。



第25回 飯山おじも杯 少年サッカー大会

6月25日 (日)



飯山総合運動公園多目的広場において、梅雨のなか晴天に恵まれ盛大に開催されました。

飯山少年サッカーチームは三位に入賞しました。

NPO法人スポーツクラブ飯山

第13回おじも杯 グラウンドゴルフ大会

飯山総合運動公園多目的広場で穏やかなお天気に恵まれ、87名の参加で開催されました。

7月16日 (土)



優勝 大原 栄子 (岸ノ上自治会)
準優勝 三井 邦彦 (五反地自治会)
三位 中川美由貴 (東小川団地)